

CRE、川越市に7500m²の2階建て倉庫竣工

Edited By LogisticsToday On 2018/02/28



シーアールイー（CRE）は28日、埼玉県川越市で賃貸物流施設「ロジスクエア川越」が竣工したと発表した。

開発地は関越自動車道川越インターチェンジから10キロ、首都高速埼玉大宮線と野10から16.7キロ、国道254号線、国道16号線にも近く、国道17号新大宮上尾道路へのアクセスにも優れる。

川越工業団地内の工業専用地域にあり、周辺は倉庫・工場が多く、24時間稼働が可能。工業団地を管轄する川越東部工業会協同組合が運営するバスや駐車場があり、雇用を確保しやすい。

建物は6300平方メートルの敷地に地上2階建て、延べ面積7542平方メートルで、マスタープランとしてはワンフロアが1140坪の2階建てで、1階部分のトラックバースは高床式とし、一部スパンではプラットホームをテールゲート車対応とする。

倉庫部分は床荷重は1.5トン（1平方メートルあたり）、有効高は1・2階に6メートル以上、照度は300ルクスを確保し、外壁には断熱性の高い金属サンドイッチパネルを採用。1階はブレース（筋交い）がなく、2階は柱を一部減らすことで保管効率を高める。

上下搬送設備は、荷物用エレベーター（積載荷重3.5トン）を2基実装し、階層を2階建てに抑えることで、多層階施設特有の上下搬送に起因した時間的なロスを抑える。

外構は大型車待機場場としても活用できるようトラックヤードは余裕を持ったスペースを確保する。全館LED照明、人感センサー、節水型衛生器具の導入などを導入することでBELS評価を取得している。

また、当社開発物件の標準装備である緊急地震速報システムの導入やAEDの設置、火災延焼対策として自動火災報

知設備に断路器を設置し、火災時の配線ショートによる防火シャッターの機能停止や延焼の拡大を防ぐ。

施設内のサインには、川越ゆかりの「川越唐棧織」と「紫陽花」（あじさい）をモチーフにした親しみのあるデザインをベースとし、有効高、床荷重、照度などの倉庫機能を可視化したサインなどを取り入れている。

■ロジスクエア川越の概要

施設名称：ロジスクエア川越

所在地：埼玉県川越市芳野台（川越工業団地内）

敷地面積：6300平方メートル（1905.77坪）

用途地域：工業専用地域

主要用途：倉庫（倉庫業を営む倉庫）

建物構造：鉄骨造地上2階建て

延べ面積：7542.56平方メートル（2281.62坪）

着工：2017年6月30日

竣工：2018年2月28日

設計施工：関東建設工業

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/311324>

Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.